

安全と、ホタルの保護という両面からバランスのとれた活動を行っています。ホタル観賞の人が来るようになり、地域の認知度が上がり、キャラクターグッズの販売などで活動の費用の一部を賄っているとの事です。

ヒメボタルを保護する事の意味

ヒメボタルはオオサンショウウオと共に、日南の豊かな森林を象徴する生き物として、町などでも対外的にアピールを行っています。ヒメボタルは、光害の発生しない森林で、間伐作業などにより、下草が生えるような管理された森林においてよく見られるとの事です。森林整備が進み、ヒメボタルにとって住みよい環境が増えてくれば、福万来に限らず日南町全域にわたってヒメボタルが見られるような山林が増えてくるのではないかと伺いました。

㈱グリーンシャインの話題から 新人若手作業者の奮闘の話

日南町最大の素材生産会社、㈱グリーンシャインに、平成27年6月より新たに林業の世界に飛び込んできた若者がいます。今回、大谷広志さんにお話を伺ってきました。

大谷さんは1983年生まれ(31歳)。岡山県新見市より、日南町へ通って林業の仕事をしています。

以前は京都府に居住していたそうです。京都府も銘木で名高い林業地域ですが、日南町は中国地方でも林業の盛んな地域ということもあり、町の林業会社への就職を決めたとの事です。



林業を志すきっかけになったのは、愛知県で行われた体験研修に参加した事だそうです。「この仕事に就いて、非常によかった。やりがいを感じています。入社後は、先輩と山に入っただけの山林調査や下刈り、道刈りなどの業務をして来ました。もし、森林関係の職に興味がある人がいたら勇気を出して踏み出して欲しい。3ヶ月も仕事をすれば、田舎に住むということ、田舎で仕事をするということ、色々な事が分かってくると思います。」と、力強い思いを語ってくれました。

6月下旬、大谷さんの作業の様子を取材に行きました。現場は船通山林道の道刈り作業でした。舗装部分の奥1mくらいまでを目安に刈り払い機を使用して作業を行います。一人もくもくと作業を進める様子は、これからの林業を担う方として頼もしくも思えました。会社の方によると、道刈り作業などを行う事で機械の動かし方などを覚えてもらい、作業員としての技術を高めていくとの事でした。

林業会社が単純に森林作業を行うだけではなく、道路管理等の業務を行う事で作業員の技術を高めていく、新しく林業に就職する人のステップアップにつながるという事についても考えるきっかけとなりました。取材にご協力頂きました㈱グリーンシャイン様、ありがとうございました。